

行政

機運醸成の具体的な施策は
様々な取り組みを計画している

デフリンピック



より多くの市民に大会を知ってもらえるよう、本市にゆかりのある選手による市長表敬訪問、YouTubeでのインタビュー配信など様々な施策を計画している。

小山田なおと議員(公明党) 東京2025デフリンピックは、聴覚に障がいのあるアスリートが世界各国から参加する国際大会であり日本初開催である。大会の成功には、市内における広報活動やイベント等、具体的な取り組みが重要だが、市は機運醸成の具体的な施策を計画しているのか。

一般質問

9月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。各議員の持ち時間は1人60分(答弁含む)です。ここでは、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、分野ごとにまとめて掲載しました。

※9月定例会の一般質問は、9月3日に通告を締め切り、9月24日から5日間の日程で行いました。
※議員氏名の左の会派名は、一般質問実施時点のものです。会派に所属していない議員については氏名のみ掲載しています。
※2次元コードから一般質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。ご覧いただけない場合は、恐れ入りますが議会事務局議事課までお問い合わせください(047-712-8673)。

行政

市長公用車の使用

政務で使用するケースは
その都度判断している

小泉文人議員(創生市川・自民党第一) 田中市長の活動範囲は、市の執行機関として、職務上執行している公務のほか、政治的立場に基づき行う政

務など広範囲にわたるものと認識しているが、政務のために、市長公用車を使用することはあるのか。答 市長公用車については、原則として公務のために使用するが、公務と公務の間に政務が入った場合など、効率的な移動のため、継続して使用する場合もある。そのような場合であっても、公務遂行に支障が生じないよう適切に運用しており、市長公用車の使用については、必要性や合理性を十分に考慮した上で、その都度判断している。

DV防止

周知啓発 一歩進んだ取り組みを
提案された方法を含め考えたい

石原みさ子議員(創生市川・自民党第一) DV防止のための市民への周知啓発は、よりインパクトのある方法で実行すべきと考える。例えば、女性

に対する暴力根絶のシンボルカラーを使ったパープルライトアップ、第1庁舎での企画展示、市長によるDV防止メッセージの発信など、今後、議員提案の方法を含めて、今後の取り組みを考えていきたい。

市民プール

閉鎖についての情報提供は
広報やSNS等を活用していく

つかこしたかのり議員(創生市川・自民党第一) 市民プールは、スポーツ・レクリエーションの場として大きな役割を果たしてきたが、施設老朽化による

安全確保等の課題がある。令和7年度施設方針にて、8年度の営業をもって終了し、新たなスポーツ施設に生まれ変わるよう整備計画を策定することが示された。このことであるが、その後閉鎖に関する情報提供はなされていない状況である。今後、市民や影響を受ける利用者等に対し、どのように情報提供をしていくのか。答 営業終了の際には、広報いしかわをはじめ、公式ウェブサイト、SNS等を活用し、広く市民や関係団体へ周知していく。

市川市民納涼花火大会

禁止行為の場所取りに対する対応は
シート等を見つけた次第撤去している

宮本均議員(公明党) 令和7年度の花火大会では、職員や警察など800人以上を動員したほか、仮設トイレの一部に洋式トイレを導入するなど、運営面

での改善が随所に行われたとのことだが、禁止行為である場所取りについてはどのように対応したのか。答 レジャーシート等による場所取りを想定し、花火大会の4日前から警備員が深夜帯を含めて巡回し、場所取りのシート等を見つけた次第、撤去している。今後、花火大会における場所取りの防止について、どのような対策が有効なのか、また、河川敷にテントを張るケースなどへの対応についても関係機関と協議していく。

防災・安全

江戸川河川敷の安全対策

浮き輪の増設等は可能か
河川管理者と協議し、検討する

国松ひろき議員(未来市川) 江戸川河川敷の安全対策については、これまで定例会で質問してきており、市は柵の代わりとなるツツジ

の植栽や注意喚起看板の設置を進めてきた。その他の対策として救命浮き輪が設置されているが劣化している状況である。そこで、浮き輪設置の現状と増設の可否、ライフジャケットの設置の可否について問う。答 浮き輪は、市が2カ所、国が1カ所設置しており、市が設置したものは日常的にパトロールし、状況確認をしている。浮き輪の増設やライフジャケットの設置については、河川管理者である国と協議し、設置場所等を含めて検討していく。

道路交通

八方橋交差点

歩行者用信号の青時間 延長は可能か
平日朝以外は検討の余地がある

やなぎ美智子議員(日本共産党) ニッケコルトンプラザ通りにある八方橋交差点は、歩行者用信号の青時間が短く、渡り切れないとの声を

聞く。所管する千葉県警察は、これまでも青時間の延長をしてくれているとのことだが、更なる延長は可能か。答 当該信号の青時間は、令和3年5月31日に、それまで17秒だったところを、平日朝7時15分から8時30分までの間に限り7秒延長し、24秒とされている。県警に確認したところ、ニッケコルトンプラザ通りの更なる渋滞増加につながる最大時間にしており延長は難しいが、平日朝以外の時間帯については検討の余地があるとのことであった。

江戸川サイクリングロード

国府台3丁目地先の整備状況は
予備設計を行い、最適な案を検討

中村よしお議員(公明党) 本市では、これまで江戸川サイクリングロードの整備を進めてきたところであるが、国府台3丁目地先の

里見公園西側は未整備となっていた。令和7年度当初予算で当該箇所の整備に係る予算が計上されているが、現在の整備状況はどうか。答 当該箇所については、幅員5メートルの一般道路に3.5メートルのサイクリングロードを拡幅整備するための予備設計を行っている。拡幅を行う場合、護岸や擁壁の築造が必要となることから、予備設計においてはそれらを検討するための測量等を行い、最適なルート案を検討すると共に、国等と協議を行っている。

汚泥処理業務

環境に配慮した適正な処理が必要
関係部署と協議し取りこむ

大場諭議員(公明党) 本市は、汚泥処理業務委託において、側溝等から収集される産業廃棄物を無機性汚泥として処理する契約

を締結しているが、回収される汚泥には、落ち葉等の有機物も含むと想定される。契約書に産業廃棄物の種類を明記するなど、環境に配慮した適正な処理が必要とされていることを踏まえた対応の強化が必要と考えられる。今後の業務発注については、近隣の状況を参考にしながら関係部署と協議し、適正処理の確保と環境負荷の低減に取り組む。

行政